

第2回「市長の秋葉区ミーティング」(区自治協議会委員)の概要

テーマ 『協働で進める区のまちづくり』

- ・日時 平成20年2月6日(水)
午後2時40分～3時50分
- ・会場 秋葉区役所401会議室
- ・発言者数 4名
- ・傍聴者数 24名

【発言】「地域との信頼関係を高めるための行政組織について」

コミュニティの基本は、人と人とのふれあい・信頼関係が不可欠であり、地域づくりは人づくりであると思っている。これまで地域と行政の連携については公民館などがその役割を担ってきたと思う。今後、協働のまちづくりを進める上で行政と地域の信頼関係を築き上げていくため、できるだけ住民に届け込む、かつての公民館のような部署の設置や人材の配置が望ましいと思う。

(市長)

公民館の役割は、旧市町村でそれぞれかなりの特徴がある。それを踏まえて、住民との意見交換などのノウハウやスキルを全職員に身につけてもらう必要があると思っている。区役所にはコミ協が動きやすいような組織体制などを検討するよう改めて指示したいと思う。

【発言】「教育現場とまちづくりの連携について」

金津地区では中学校と連携し、総合学習の時間に地域理解を深める学習をしてきている。地域住民が指導者となり、また受講者ともなって、生徒たちにふるさとの大切さを学んで欲しいという取り組みである。しかし、総合学習が学力向上との関係で縮小されるような動きもあり、また、学校も学校長の考え方一つで変わってくるという現実がある。もっと教育現場とまちづくりの連携が深まるよう配慮を願う。

(市長)

地域がまとまってこういうふうにやりたいというのを跳ね返せる校長はいないのではないかと思うが、市の教育ビジョンで、学・社・民融合を謳っているので、これについては徹底したい。そういう中で、学校が地域の特性を踏まえ、地域の力を活用させてもらい、学力向上などの本来業務に専念するというのが、

進むべき方向だと思う。

【発言】「旧新津市の文化財について」

旧新津市には36の文化財があったが、新潟市の文化財条例に照らしたときにかなりの数が外されるのではないかという声がある。見直しがあったとしてもなるべく残して欲しい。市で外されるなら区の文化財というような扱いができないのかとお願いしたい。

(市長)

文化財については、新潟市の全体が誇るべき宝物、地域が誇るべき宝物というような何らかのものさしを一回あててみる必要があると思う。ただ、これは宝物ではないということをする必要もない。また、地域が生んだ先人・偉人についても、市民があまり知らないという状況がある。これも何とかしたいと思っている。

【発言】「地元食材の学校給食への利用促進について」

食育・農業体験学習活動の取り組み強化について」

子どもの食への関心、自らの暮らしと社会の営みとの関わり、地域の食文化、命と健康の尊さなどに対する理解を深めることを狙いとして、地元食材、特にコシヒカリを使った学校給食の促進と食育や農業体験学習活動の取り組み強化をお願いしたい。

(市長)

基本的に新潟は食育健康づくり最先端都市を目指している。21年度には全市で完全米飯給食の予定。一等米比率を上げる取り組みをJAからさらに旗を振っていただき、生産調整に協力するなどのがんばる農家を支援する。米飯給食は、子どもたちの健康のためだが、結果的には農家の応援にもなる。

学校給食は、半世紀ぶりの大転換の時期。数少ない栄養教諭のノウハウを全域にいきわたらせるような食育センターにすれば、市民に意義が伝わるのではないかと考えている。また、食育センターと食推の方々や子育てサポーターが連携すれば、若いお父さんやお母さんに大変重要な食育の情報を伝えていけると思う。

【発言】「商・工・農との連携について」

市街地活性化に向けた，商・工・農との連携への指導・支援をお願いしたい。

(市長)

現政権で新潟の食品産業の取り組みは評価されていると受け止めている。基本的には，食品メーカーなどが地元の良いものを使って，さらに研究開発をしてもらいたい。そこにNPOが入っていくと上手く廻るという実例が新潟市にもあるので，そういうものを支援していきたいと思っている。

「水と土の芸術祭」や「天地人のふるさと新潟市」にあわせて，お土産(ギフト)作りを進めたい。多くは，農産物が原材料に相応しいとも思うので，NPOを支援するなどしていく際に，アイデアをいただきたい。

【発言】「花産業の拠点施設について」

食と花の政令市のシンボルとなり，全国へ発信できる花産業の拠点施設として，交流人口の拡大にもつながるフラワーパークを造ってはどうか。

(市長)

基本は，約束をした合併建設計画をきっちりやる。そういう中で，建設計画にはなかったけれども，交流人口拡大に資するものをやりたいという場合は，いくつか計画されていたものを後に廻してということで，区自治協議会などで意見をまとめていって，まとめきれない場合は市議会などに相談していただく。

市民でまだまだ県立植物園を知らない人も多い。市内に花の名所はいくつかあるので，市民がもっと認識し，アピールしていくことが大事かと思う。まずネットワーク型で，花の素晴らしいところがいろいろあるということを知ってもらうことが大切。今後の国際見本市については，いろいろ勉強させてもらいながら，意見交換をさせてもらいたいと思っている。

【発言】「商店街の活性化について」

商工会議所のまちおこし事業への補助の充実をお願いしたい。

(市長)

食の陣などの意欲ある取り組みにありがたく思っている。商店街の活性化というのは，アーケードを直したから活性化するというものではないことがわかってきている。もっと地域が本気になって欲しい。新津市時代から長く取り組

んできているが、なかなかシャッターどおりは解消していない。JR新津駅を公共交通の核の一つとして位置づけて、ネットワークをさらに強化したいということで、まちへの人の流れなども考えていきたい。

これ以上郊外型の大型店はできないので、後継者も含めて地域でどういうことができるのか考えていただきたい。意見交換の場や窓口については、さらに考えていきたい。

【発言】「文化会館・総合体育館の建設地について」

合併建設計画で予定されている文化会館・総合体育館については、公共交通の利便性がよく、市街地の活性化にもつながる新津駅西口レールセンター跡地に建設して欲しい。

(市長)

JRの競売について、もう一度お願いをしようと思っている。地域に資するものにしてほしいなどを申し入れたい。そして良い手が挙がらなかった場合には、相談相手の筆頭は新潟市という構えで、意思を明確に示そうと考えている。ただ、市が取得できるというのは相当厳しい道なので、区自治協議会委員や市議会議員の皆さんに次のことも考えておいてもらわないと、どんどん延びていってしまうことになる。今月が勝負の月になるようなので、市の意思を明確に伝えるよう努力したいと思っている。

【発言】「コミュニティ協議会の方向性について」

市長の考えるコミュニティ協議会の今後の方向性について聞かせて欲しい。

(市長)

コミュニティ協議会にやって欲しいことは大きく分けて二つある。一つは、今まで自治連合会などでできなかった、学校支援・子育て支援の分野。PTAの方々や子育て支援の方々やNPOなどと、子どもたちの安心・安全を含めた学校支援・子育て支援についてやってもらえると上手くいくのではないかと。もう一つは、区社協が力をつける段階にあるので、地域福祉に力を出していただけると、市民の満足度が上がり、コミ協の存在感が増すのではないと思う。地域の団結などの段階を踏んでのこととは思いますが、そうすれば2～3年後には素晴らしくなっていくのではないと思う。

【発言】「公民館の弾力的な運用について」

コミュニティセンターのない小須戸地域では、公民館を有効活用したいので、弾力的な運用をお願いしたい。飲食を可能にすることによって、稼働率が上がり、出張所の空きスペースなどとあわせて、有効活用ができれば十分な活動ができるのではないかと。

(市長)

学校や旧役場など既存施設のスペースを有効活用できないかと検討している。書類置き場になっているところや議場などの活用を宿題としているところである。